

● 新世社 新刊のご案内 ●

# ミクロ経済学

古川徹也・盛本晶子・渡辺雅仁共著 A5・216頁・定価 2640円

ミクロ経済学における必須の事項を精選した入門テキスト。家計や企業などの経済主体が、限られた資源のもとでどのような選択を行うか、それらが経済全体でどのように相互に影響しあうのか、どのようにして市場経済がうまくいくのかなどを解説し、経済学で重要な「モデルで考える力」を養成する。読みやすい2色刷。



# 国際貿易論

松村敦子・服部哲也・亀井慶太共著 A5・320頁・定価 2750円

新型コロナウイルスによるパンデミック、ロシア・ウクライナ戦争、米国のトランプ政権による関税政策など、世界経済や貿易の不確実性が高まる中、国際貿易論において、なぜ自由貿易が望ましいと考えられてきたのか、また貿易政策は何を目的としているのかを、理論面・制度面から丁寧に解説する。



# レクチャー&エクササイズ ミクロ経済学

田代昌孝著 A5・184頁・定価 2420円

ミクロ経済学をはじめて学ぶ方のための入門テキスト。数学が苦手と感じる読者を考慮し、微分等の数学をなるべく使わずにやさしく解説する。ミクロ経済学とはどういうものであるのか、というイメージをつかむことを第一の目的とし、各章に用意された練習問題、復習問題を解くことで、確かな力が身につくよう工夫されている。



# 経済統計

宇南山卓著 A5・256頁・定価 2750円

経済学の視点を中心に据え、個々の統計が経済学における概念とどのように関係し、経済構造の理解にどう貢献するのかを説き明かすテキスト。GDP・金融・国際収支等のマクロ統計、家計・企業等の活動を扱うミクロ統計を説明した後、物価、賃金と金利、新たなデータと統計調査、統計間の整合性について取り上げる。2色刷。



# 公共経済学15講 第2版

佐藤主光著 A5・304頁・定価 2860円

公共経済学の標準的な理論を説き明かしながら、現実の公共部門の直面する様々な問題を考察した好評テキストの最新版。難解な数式の展開は避け、初版刊行後8年間の日本の経済・財政を取り巻く環境の変化を踏まえて記述内容や統計データをアップデートし、EBPMの因果推論の解説を拡充した。15講構成・2色刷。



# 経済学Basics

好評発売中

大竹文雄著 A5・264頁・定価 2695円

チケット転売は何が問題なのか？賢く資産をふやす秘訣とは？本書はこれから経済学を学ぼうとする読者に向けて様々な事例をもとに経済学のベーシックな考え方を解説した「入門の入門書」である。確認問題を豊富に設け、考えながら読みすすめることで自然に経済学的な思考方法やセンスを身につけられるよう構成。2色刷。



新世社 発売 サイエンス社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-25  
TEL 03-5474-8500 (代)  
<https://www.saiensu.co.jp> [価格税込]

